

○市区町村 番	○基本調査区番号	○商店番号



指定統計
第23号

商業調査票

(飲食店用)

平成4年10月1日

*町丁・字コード

*大規模小売 店舗番号

丙

この調査は事業所単位の調査ですから、貴事業所(店舗)分についてのみ記入してください。

★★★ この調査は、統計法(昭和二十二年法律第十八号)に基づく指定統計調査で、すべての飲食店は申告の義務があります。ただし、料亭、バー、キャバレー、ナイトクラブ、酒場、ビヤホールは除きます。

★ 記入に当たっては、「調査票の記入の仕方」をよく読んでください。

★ この調査票は、統計作成の目的以外には使用されません。また、調査の事務に従事する者が調査の内容を他に漏らすことは法律により固く禁じられております。

★ この調査票は、調査員に提出して下さい。調査票は通商産業省に送付され、厳重に保管されます。

○欄 *欄は記入しないでください。

1. 商店名及び所在地 フリガナ 商店名 所在地	電話 () 局 番 番 号 番 地 ビル内 階 店舗内
2. 経営組織 あてはまる番号を○でかこんでください。	1. 法人(会社(株式、有限、合資、合名)、組合など法人組織の商店) 2. 個人
3. 商店の本店支店別 あてはまる番号を○でかこんでください。	1. 単独店(支店を持たない商店) 2. 本店(支店を持っている商店) 3. 支店
4. 商店の開設年 (1) あてはまる番号を○でかこんでください。 (2) 2,3にあてはまる場合はその年を記入してください。	1. 昭和19年以前 2. 昭和20年以後 → 昭和 年 3. 平成元年以後 → 平成 年 (平成元年の場合は0年と記入してください。)
5. 来客収容人員数 通常の状態での収容できる人員数を記入してください。	人
6. 来客用駐車場の有無と収容台数 (1) あてはまる番号を○でかこんでください。 (2) 1.に○をした場合は自動車の収容台数を記入してください。	1. 自店の専用駐車場有り → 収容台数 台 2. 他店等との共用駐車場有り → 台 3. 無し
7. 開店時刻及び閉店時刻 (1) あてはまる番号を○でかこんでください。 (2) 平成4年10月1日現在で記入しますが、開店・閉店時刻が日曜・祝日と平日とで異なる場合は平日の時刻を記入してください。	開店時刻 1. 午前 時 分 2. 午後 時 分 閉店時刻 3. 午前 時 分 4. 午後 時 分 終日営業 5. 24時間営業
8. 従業者数 (1) 平成4年10月1日現在で記入してください。 (2) この店の業務に従事している人の数を記入してください。	男(人) 女(人) 合計(人)

9. 年間商品販売額
(1) 平成3年10月1日から平成4年9月30日までの1年間の販売額を記入してください。
(2) 本店の場合は本店分のみ販売額を記入してください。

百億	十億	億	千万	百万	十万	万円

※以下については、項目ごとにあてはまる番号を1つだけ選んで○でかこんでください。

10. 来客1人当たりの消費金額
(1) アルコール類を除いた消費金額としてください。
(2) 平成4年10月1日現在で記入しますが、調査日がお店の休業日又は特別な日(開店祝等)に当たり、提供する価格が通常と異なる場合は、調査日に近い平日の消費金額としてください。

1. 300円未満
2. 300円以上 500円未満
3. 500円以上 700円未満
4. 700円以上 1000円未満
5. 1000円以上 1500円未満
6. 1500円以上 2000円未満
7. 2000円以上

11. 料理提供時間
お店が混雑していない状態で客から注文を受け、料理を提供できる平均時間としてください。

1. 3分未満
2. 3分以上 10分未満
3. 10分以上

12. ゼルフ・サービス方式採用の有無

1. 採用している。
2. 採用していない(一部採用を含む。)

13. フランチャイズ・チェーン加盟の有無

1. 加盟している。
2. 加盟していない。

14. 業種
表紙の「業種分類表」を参照し、お店の主たる業種の番号を1つだけ選んで○でかこんでください。

1. 一般食堂(2.~7.を除く。)
2. 日本料理店
3. 西洋料理店
4. 中華そば店(麺類主体の店)
5. 中華料理店
6. 焼肉店
7. 東洋料理店(4.~6.を除く。)
8. そば・うどん店
9. すし店
10. 喫茶店
11. ハンバーガー店
12. お好み焼店
13. その他の一般飲食店

備考

本票について照会を受けた場合に回答できる人の氏名

申告者の氏名

通商産業省